

ALL JAPAN EV-GP 2023

SERIES

ROUND 1

第1戦 | 全日本 筑波 EV 55kmレース大会

2023年4月22日(土) 雨天
決行 筑波サーキット

主催: 日本電気自動車レース協会 (JEVRA)

大会後援: 東京中日スポーツ



災害用
充電車

T救号

普段はEV充電車、緊急時には電源車に!!

～仕様により様々なアジャストが可能です～



■車両スペック

車両	日野デュトロ(N04C)
搭載発電機	HMG (hybrid magnetic generator) × 3基
発電機搭載箇所	追加コンプレッサー取付部×1基・フライホイールPTO部×2基
発電機出力容量	DC300V—50A 15kVA (発電機1基あたり)
搭載バッテリー	東芝製 SCiB 2P12S × 10 個直列
バッテリー容量	DC300V—40A 12kVA
Total 出力容量	DC300V—190A 57kVA (発電機3基+バッテリー)
搭載充電器	DCJ503D4AUF(デルタ電子製)・True-G50(Milla-E50 菊水電子工業製)
出力電圧	DC12V / DC24V / DC300V / AC100V / AC200V(3φ) ※出力電圧は仕様により任意に変更可能

東洋電産株式会社

東洋電産株式会社 愛鷹テクノセンター
〒410-0301 静岡県沼津市宮本 243 番 7
TEL:055-929-0511

JEVRA 出張充電サポートのご案内

日本電気自動車レース協会(JEVRA)では、2014年より出張充電サポートを開始して以来、数多くの充電サポートを行って参りました。

全国各地にお伺いして出張充電サポートを様々な会場で行っておりますので、是非ご利用下さい。

移動充電サポート会場(例)

- EVディーラー研修会
- EV走行会
- ジャーナリストEV試乗会
- EVイベント会場
- 急速充電器の無い会場
- 一般EV試乗会
- EV同好会のオフ会

移動充電サポート内容

- 50kW/h出力の急速充電器による充電サポート。
- 電源は、300kVA出力の電源車で稼働致します。
- 接続プラグは、CHAdeMO(日本)/CCS1(米国)/CCS2(欧州)/GBT(中国)に対応致します。



ご利用料金

※充電サポート会場によって異なりますので、お気軽にお問合せ下さい。

- 急速充電器ご利用料(50kW/h出力)
- 電源車ご利用料(延長ケーブル等の御使用料が別途必要です)
- 宿泊代(宿泊を伴う場合)
- 高速料金(高速道路を使用する場合)
- 車両移動燃料代(急速充電器&電源車)
- 電源車燃料代(急速充電器稼働時使用燃料代)
- 車両超過距離加算(片道100Km以上)



100kW
2出力同時充電

世界標準
OCPPスマート
チャージング

小型化による
設置面積の削減と
コストの低減



新製品

EV/PHEV用 100kWDC充電器 EVHJ104シリーズ

- 最大定格出力100kW
- 世界最小・最軽量クラスの省スペース設計
- CHAdeMO、CCS1/CCS2に対応可能
- 決済・クーポン発行サービス「EZQC」対応
- クラウドサービス対応



サービス
エリア



駐車場



充電サービス
ステーション



商業地域



運輸・輸送
ハブ

デルタ電子株式会社

〒105-0012 東京都港区芝大門2-1-14 TEL:03-5733-1111
<http://www.delta-japan.jp> e-mail: jpmarketing@deltaww.com

 **DELTA**
Smarter. Greener. Together.

2023 ALL JAPAN EV-GP SERIES

全日本 筑波 EV 55Km レース大会

ROUND

MESSAGE

開催のご挨拶



日本電気自動車レース協会 (JEVRA)

理事長 関谷 正徳

Masanori Sekiya

日本電気自動車レース協会 (JEVRA) は、地球温暖化防止と電気自動車 (EV) 産業発展および優秀な人材育成を目的に2010年3月に設立して2023年で14シーズン目を迎えました。地球規模で温暖化によると思われる環境破壊が進む中で「環境に優しいEVレース」を通じて「地球温暖化に対する意識改革」を推進致します。

また、SDGsの達成に向けた取り組みを行い、「気候変動」という国境のないグローバルな課題に挑戦して参ります。気象パターンは変化し、海面は上昇し、異常気象は益々激しくなり、温室効果ガスの排出量は高水準に達しています。この危機的な環境に対する意識改革を一日も早く実行して行かなければ、未来ある若者達の未来は悲観的な状況を迎えることになります。

このような様々な難題の解決策として、カーボンニュートラルを目指すこれからの時代は、EVに充電する電力も限りなく「再生可能エネルギー」を使用し、「開発の場」としてのモータースポーツフィールドを活用したEV開発のスピードアップに貢献出来るよう努め、将来を担うEV産業の優秀な人材育成にも「EVレース」を通じて教育環境を微力ながら提供して参りますので、ご支援ご協力をお願い申し上げます。

2023 CALENDAR

第1戦	4月22日(土)	55km	筑波サーキット／茨城県
第2戦	5月14日(日)	55km	富士スピードウェイ／静岡県
第3戦	6月18日(日)	55km	袖ヶ浦フォレストレースウェイ／千葉県

第4戦	8月11日(金・祝)	60km	袖ヶ浦フォレストレースウェイ／千葉県
第5戦	9月23日(土)	55km	スポーツランドSUGO／宮城県
第6戦	10月9日(月・祝)	60km	筑波サーキット／茨城県

TIME SCHEDULE

	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
参加受付 (大会事務局)		EV 45 15									
ブリーフィング (ビット2F)		EV 15 15									
車両検査 (車検場)			EV 30								
公式予選				25 EV 40 15							
充電			急速充電器／普通充電 (P2パドック)								
スタート進行								EV 15 15			
決勝								EV 45 27Laps 15			
表彰式 (ビット2F ゲストルーム1)									EV 15 15		

※タイムスケジュールは天候その他の理由により変更になる場合がありますので予めご了承下さい。

ORGANIZATION

- 開催日 令和5年4月22日(土)
- 会場 筑波サーキット／茨城県
- レース距離 55km (2.045km × 27周)
- 主催 日本電気自動車レース協会 (JEVRA)
- 組織 理事長 関谷 正徳
理事 館 信秀
理事 藤本 康孝
理事/事務局長 富沢 久哉
株式会社ブリヂストン
住友ゴム工業株式会社
横浜ゴム株式会社
東洋電産株式会社
デルタ電子株式会社
ICCインターナショナル株式会社
- 大会協賛

- 特別会員 電気自動車普及協議会 (APEV)
EVオーナーズクラブ (EVOC)
- 大会後援 東京中日スポーツ
株式会社ブリヂストン
住友ゴム工業株式会社
横浜ゴム株式会社
日本道路株式会社
東洋電産株式会社
株式会社繁原製作所
デルタ電子株式会社
ICCインターナショナル株式会社
株式会社日本ヴェーテック
株式会社トムス
- JEVRA 賛助会員



日本電気自動車レース協会 (JEVRA)
〒157-0067 東京都世田谷区喜多見2-6-30
株式会社 M&T プランニング内
TEL.03 (6411)0092

[ホームページデザイン]
ライソン株式会社
[プログラムデザイン]
デザイン: Tecmag

タイヤは、
雨で選ぼ。

BluEarth
AE-01Fから

BluEarth-GTに替えると

雨の日に
約 **20%短く**
止まれる!

雨でもよりちゃんと止まれる
ウェットグリップ性能グレード「a」のタイヤ

業界初 **400** サイズ 突破
※2022年10月時点



ADVAN
Sport
V107



ADVAN
dB V552



ADVAN
FLEVA
V701



BluEarth-GT
AE51



BluEarth-RV
RV03



BluEarth-RV
CK



BluEarth-Xt
AE61



2023 ALL JAPAN EV-GP SERIES

全日本 筑波 EV 55Km レース大会

ROUND

ENTRY LIST

エントリー：参加10台

No.	ドライバー	クラス	車名	電池/容量	モーター出力	タイヤ	エントラント	代表者
1	余郷 敦	EV-1	タイサン BIR BOSCH TESLA	Li/75kWh	360kW	YH	TEAM TAISAN	千葉 泰常
2	堀 雅清	EV-1	TAISAN 東大 BIR TESLA 3	Li/75kWh	360kW	YH	TEAM TAISAN	千葉 泰常
6	大野 博美	EV-R	千葉県自動車大学校 AURA ePOWER	-	100kW	BS	Barn RACING	大野 博美
35	TAKAさん	EV-1	スエヒロ Rush モデル 3 BMS_066	Li/75kWh	360kW	YH	スエヒロ自動車商会	鈴木 淳
39	アニー @ ニキ	EV-1	スエヒロモデル 3@ ニキ	Li/75kWh	360kW	YH	スエヒロ自動車商会	鈴木 淳
42	飯田 章	EV-F	トーヨーシステム CNR ミライ AKIRA	-	134kW	DL	AKIRA RACING	飯田 章
77	本間 康文	EV-3	LLAS RACING ZE1	Li/40kWh	110kW	YH	LLAS RACING	本間 康文
88	レーサー鹿島	EV-2	東洋電産・LEAF e+	Li/62kWh	160kW	YH	東洋電産株式会社	伊藤 晃
555	廣瀬 多喜雄	EV-R	e-Power オーラ NISMO	-	100kW	BS	OIRAKU RACING	廣瀬 多喜雄
634	水谷 侑司	EV-C	MuSASHiD-REV シビック EVR	Li/40kWh	110kW	YH	D-REV@ 武蔵精密工業	加藤 宣保

[クラス] EV-1=モーター出力251kw以上 / EV-2=151Kw以上 251kw未満 / EV-3=151Kw未満 / EV-S クラス=SUV車両(出力自由) / EV-C=市販車改造(出力自由) / EV-F=燃料電池車両(FCV) / EV-R=レンジエクステンダー / EV-P=プロトタイプ
[タイヤ] BS=ブリヂストン / DL=ダンロップ / YH=ヨコハマ [電池] Li=リチウムイオン電池



DUNLOP

DIREZZA SPORTMAX

Get the Glory!

**2022 SERIES
CHAMPION**
DUNLOP TYRE USER

全日本ラリー選手権

Japanese Rally Championship

JN1 H.コバライネン / 北川 紗衣
JN2 中平 勝也 / 島津 雅彦
JN4 西川 真太郎 / 本橋 貴司
JN5 天野 智之 / 井上 裕紀子
JN6 海老原 孝敬 / 蔭山 恵

全日本ジムカーナ選手権

All Japan Gymkhana Championship

JG3 西井 将宏
JG5 茅野 成樹

全日本ダートトライアル選手権

All Japan Dirt Trial Championship

JD1 炭山 裕矢 JD6 北條 倫史
JD2 目黒 亮 JD7 山崎 利博
JD3 坂田 一也 JD9 工藤 清美
JD4 北村 和浩 JD11 則信 重雄
JD5 細木 智矢

GR86/BRZ Cup

PROFESSIONAL Series

富林 勇佑

DUNLOP MOTORSPORT & SPORT TYRE



DIREZZA
03G

DIREZZA
β⁰²

DIREZZA
β¹¹

DIREZZA
ZII

DIREZZA
74R

DIREZZA
88R

DIREZZA
94R

DIREZZA
95R



DUNLOP
MOTORSPORT
WEB SITE



DUNLOP
MOTORSPORT
FACEBOOK



DUNLOP
MOTORSPORT
YOUTUBE

<http://tyre.dunlop.co.jp>

月に一度は空気圧の点検を!

タイヤお客様相談室
0120-39-2788
受付時間 平日(月~金)
9:00~12:00/13:00~17:00

2023 ALL JAPAN EV-GP SERIES

全日本 筑波 EV 55Km レース大会

ROUND

環境に優しい 電気自動車(EV)レース

2010年にスタートして14シーズン目を迎えた「日本電気自動車レース協会(JEVRA)」が主催する“地球環境”に優しいモータースポーツがEVレースだ。走行中の二酸化炭素(CO2)の排出をゼロにし、地球温暖化を抑える優しいEVレースは、これからの新しいモータースポーツとして世界中で注目されている。新しい時代を牽引するEVを「レース」というフィールドで競い合うことにより互いの性能を鍛え上げて技術開発のスピードアップと市販車へのフィードバックを目的にEV-GPシリーズは開催される。第1戦は10台による戦いが筑波サーキットをステージに55Km(27周)で行われる!!

EVによる 8クラスによる戦い

EV-GPシリーズは、昨年からクラス変更により、全8クラスに分かれての戦いが行われる。EV市販車クラスは、駆動モーター最大出力による3クラスと昨年から新設されたSUV(スポーツユーティリティビークル)だけによるEV-Sクラスに分かれる。総合優勝争いに一番近いのが、EV-1クラスで251kW以上のポルシェタイカン、特斯拉モデル3などだ。EV-2クラスは、151kW以上251kW未満で対象車種は日産リーフe+ (160kW)と特斯拉モデル3のスタンダードレンジプラスの参加でより激しい争いに期待が掛かる!EV-3クラスが151kW未満で

日産リーフ (110kW) やマツダ MX-30(107kW)などのエントリーが対象車種となる。EV-Sクラスはモーター出力自由で日産アリア、メルセデスEQC、アウディ e-TRON Q4などが対象となり、市販車のエンジンをモーターに転換したEV-C(コンバート)クラス(出力自由)と、開発もしくはレース専用に製作されたEV-P(プロトタイプ)クラス(出力自由)がある。EV-Fクラスは燃料電池車(FCV)と、“エンジンで発電する”EV-R(レンジエクステンダークラス)の走りにも注目したい。以上の8クラスがそれぞれのクラスで勝負を競い合うことになる。

「第1戦」筑波ラウンドの見どころ

EV-1 クラス

モーター出力251kW以上

4台の特斯拉・モデル3が総合優勝を目指し凌ぎを削るEV-1クラス。昨年度クラスランキング2位の余郷敦、そして TAKA さん、アニー @ ニキの闘いに、初参戦の堀雅清がどこまで喰らい付けるか注目したい。



EV-2 クラス

モーター出力151kW以上
251kW未満

EV-2クラスには、昨年クラスチャンピオンのレーサー鹿島の日産リーフe+ (160kW)のみエントリー。テクニカルな筑波サーキットのコースで、出力で勝る上位クラスにどこまで迫れるか注目だ!



EV-3 クラス

モーター出力151kW未満

このクラスには110kW仕様の現行型日産リーフを駆る本間康文がエントリー。世界標準となる「グローバルエントリークラス」車両のさらなる参加に期待したい。



EV-S クラス

SUV車両/モーター出力自由

一昨年から新設されたEV-Sクラス。メルセデスベンツ・EQCや日産アリアなど、世界のカーメーカーが続々とSUVタイプのEVを発売する今日こそ、新たなエントリーが待ち望まれる。



EV-C クラス

市販車にモーターと
バッテリーに変換した車両

EV-C(コンバート)クラスは、市販車ベースのエンジンをモーターとLiバッテリーに変換し「EV」に改造した車両による争いとなる。昨年CIVICのコンバートで健闘を見せた水谷侑司が今大会もエントリー。熟成の進んできた車両で、どこまで上位争いに食い込めるか、要注目だ!



EV-F クラス

燃料電池車両

EV-Fクラスには、ベテラン飯田章がトヨタ・MIRAIでエントリー。今後ますます拡大が期待される水素社会の牽引役として、その走りから目が離せない。



EV-R クラス

レンジエクステンダー

レンジエクステンダーは“エンジンで発電する”新しい発想の車両だ。このクラスの対象は、BMW i3 REXと日産ノート e-POWER/オーラ e-POWERの3車種となる。共に新型オーラを駆る大野博美と廣瀬多喜雄の熱いバトルに要注目だ!



EV-P クラス

開発車両もしくは
レース専用車両

開発車両/レース専用車両のプロトタイプクラスだが、“未来のEV開発”の為に、カーメーカーからの参戦を期待したい!



I・C・Cインターナショナルは
お客様のあらゆるニーズにお応えし
電源が必要などんな場所へも最適な電気を供給いたします。



4tタイプ

周波数 50Hz 270KVA
60Hz 300KVA
出力型式 三相3線/三相4線式
出力電圧 100V/200V/400V
〈使用実例〉コンサートツアー、機器展示会



4t特殊無停電電源車

周波数 50Hz 125KVA
60Hz 150KVA
出力型式 単相3線/三相3線/三相4線式
出力電圧 100V/200V
〈使用実例〉CM撮影、スポーツ中継



Smile & Security

笑顔と安心のために



トスネットグループ
I・C・Cインターナショナル株式会社



上記のQRコードからも弊社ホームページにアクセスできます

トスネットホームページ

ICCインターナショナル

検索



限界を楽しめ。

Into The Zone

あきらめることはしない。妥協することもない。私の走りには、高揚と挑戦という私だけの楽しみがある。

競うのではなく、自らの心に挑む。

思い描いていた境界や限界が、溶解していく。そのとき、走る喜びが、全身を駆け抜ける。

スポーティーなドライビングを愛する者だけが知る、至福のとき。

POTENZA。その走りはいま、新しいスポーツの世界を拓く。

POTENZA

さらなる高みに到達した、
プレミアムPOTENZA

POTENZA
S007A



幅広い車種に対応する、
スタイリッシュPOTENZA

POTENZA
Adrenalin **RE004**



最速へのこだわりが生んだ、
リアル・スポーツPOTENZA

POTENZA
RE-71RS



ラップタイム短縮を追求した、
リアル・スポーツPOTENZA

POTENZA
RE-12D
RE-12D TYPE A



ラップタイム短縮を追求した、
ハイグリップスポーツタイヤ

POTENZA
RE-09D



株式会社ブリヂストン

【お客様相談室】フリーダイヤル0120-39-2936

受付時間：月～金（祝日および指定休日は除く） 9:00～17:00

www.bridgestone.co.jp

BRIDGESTONE
Solutions for your journey

JEVRA EV PORTABLE QC SERIES

日本電気自動車レース協会 (JEVRA) では、2010 年から培って来た EV レースの経験を生かした急速充電器の販売を開始しました。



▶ 持運び可能な EV 用急速充電器です。(電源は別途必要です。)

▶ 接続プラグは、日本 (CHAdeMO) / アメリカ (CCS1) / ヨーロッパ (CCS2) / 中国 (GB/T) の規格に対応しています。

※接続プラグは CHAdeMO が付属しておりますが、オプションの接続プラグを使用することでアメリカ (CCS1) / ヨーロッパ (CCS2) / 中国 (GB/T) 規格にも対応します。

▶ 移動式急速充電器は、様々な場所でご利用頂けます。

自動車整備工場 / マンション駐車場 / ビル駐車場 / 外車並行輸入業者 / タクシー会社 / レンタカー会社 / ホテル・旅館駐車場 / EV イベント会社 / テストコース / サーキットなど

※室外でのご利用は避けて下さい。(雨天 / 直射日光は避けて下さい。) ※本体の操作は、特定少数の方のみで行って下さい。
※本体を稼働する時は、必ず固定してご使用下さい。 ※本体には別途、送料が必要です。

No.	型式	定格出力	入力電圧 (V) ★1	出力電流 (A)	サイズ / W×D×H	重量	CCS1 / CCS2 / GBT	価格
①	JEP141320	14kW	単相3線 / AC200V	40A@DC350V	66 × 28 × 60cm	36kg	オプション	オープン
②	JEP143420	〃	3相4線 / AC200V	40A@DC350V	66 × 28 × 60cm	36kg	〃	〃
③	JEP201320	20kW	単相3線 / AC200V	55A@DC350V	66 × 28 × 60cm	41kg	〃	〃
④	JEP203420	〃	3相4線 / AC200V	55A@DC350V	66 × 28 × 60cm	41kg	〃	〃
⑤	JEP283420	28kW	3相4線 / AC200V	80A@DC350V	66 × 28 × 60cm	58kg	〃	〃
⑥	JEP303438	30kW	3相4線 / AC380V	75A@DC400V	66 × 28 × 60cm	40kg	〃	〃
⑦	JEP363438	36kW	3相4線 / AC380V	90A@DC400V	66 × 28 × 60cm	50kg	〃	〃
⑧	JEP421320	42kW	単相3線 / AC200V	120A@DC350V	68 × 71 × 87cm	120kg	〃	〃
⑨	JEP423420	〃	3相4線 / AC200V	120A@DC350V	68 × 71 × 87cm	120kg	〃	〃
⑩	JEP603438	60kW	3相4線 / AC380V	120A@DC400V	66 × 28 × 60cm	65kg	〃	〃
⑪	JEP631320	63kW	単相3線 / AC200V	180A@DC350V	62 × 66 × 101cm	150kg	〃	〃
⑫	JEP633420	〃	3相4線 / AC200V	180A@DC350V	62 × 66 × 101cm	150kg	〃	〃

★1：入力電圧の誤差は±15%～20%です。

[販売元]

〒157-0067 東京都世田谷区喜多見 2-6-30

株式会社エムアンドティプランニング内

日本電気自動車レース協会 (JEVRA)

☎ 03-6411-0092 ✉ ev-charger@jevra.jp

